

平成26年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	村石 孝子
		全体計画						経費区分		-		内線	246-2104
事務事業名	4276 学校給食センター管理事業												
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課												
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100704 教育費・保健体育費・学校給食費											
	事業	020000 学校給食センター管理事業											
事業目的						事業概要・効果							
安全でおいしく、できるだけ手作りで、真心のこもった学校給食を提供するとともに、学校給食をとおして児童生徒の食育推進を図る。						「須坂市学校給食センター食育活動」の計画を策定し、学校と連携をはかり児童生徒の食育指導を計画的に進める。また地域食材の活用や行事献立等をとおして、地域や伝統文化などを考える機会を提供する。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
栄養のバランスが取れた給食を提供することにより、児童生徒の健康増進や体力の向上を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を身に付けさせることを目標として学校給食を実施した。また、調理部門の民間委託を開始した。	栄養のバランスが取れた給食を提供することにより、児童生徒の健康増進や体力の向上を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を身に付けさせることを目標として学校給食を実施した。
平成24年度 実績	平成25年度 実績
栄養のバランスが取れた給食を提供することにより、児童生徒の健康増進や体力の向上を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を身に付けさせることを目標として学校給食を実施した。	栄養のバランスが取れた給食を提供することにより、児童生徒の健康増進や体力の向上を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を身に付けさせることを目標として学校給食を実施した。次年度から給食費の値上げを決定した。
平成26年度 予定	平成27年度 予定
栄養のバランスが取れた給食を提供することにより、児童生徒の健康増進や体力の向上を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を身に付けさせることを目標として学校給食を実施する。	栄養のバランスが取れた給食を提供することにより、児童生徒の健康増進や体力の向上を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を身に付けさせることを目標として学校給食を実施する。

指標名	学校給食県産農産物利用状況調査				
算式	県内産食品数÷全食品数×100				単位 %
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標	39	40	41	42
	実績	47.6	58.2	66.9	43
指標選定の理由	学校給食における県内産農産物利用率（全県・食材数ベース） 長野県食育推進計画における達成目標値				
最終年度 目標の根拠	県の食育推進計画による				
指標名	地産地消の推進				
算式	野菜・果物 市内産購入量（kg）÷全体購入量（kg）×100				単位 %
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標	11.2	13	15.9	17.4
	実績	13	15.9	17.4	前年度以上
指標選定の理由	市内産農産物を学校給食で出来るだけ多く利用する				
最終年度 目標の根拠	前年度以上を目標としたい				
指標名					
算式					単位 %
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		423,172	450,100
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	268,173	291,624
一般財源		154,999	158,476
人員数 (人)	正規職員	0.7	0.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.9	0.9
人員 コスト	正規職員	4,800.6	4,114.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	1,059.3	1,059.3
	計	5,859.9	5,174.1
市民一人当たりの経費		8.2	8.7
総額		429,031.9	455,274.1

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	26	学校給食センター運営委員会委員報酬
11節 需用費	303,780	
13節 委託費	105,481	警備保障委託、配送業務委託、調理業務等委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	51	県栄養士部会負担金15千円、廃油用油処理団体負担金36千円
その他	13,834	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	72	学校給食センター運営委員会委員報酬
11節 需用費	325,141	
13節 委託費	109,349	警備保障委託、配送業務委託、調理業務等委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	51	県栄養士部会負担金15千円、廃油用油処理団体負担金36千円
その他	15,487	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	学校給食は、学校給食法に基づき実施している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	現在の施設で工夫しながら食育活動を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	施設の修理維持費など、古い施設ほどコストがかかってしまう。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

調理に携わる者の工夫などで、衛生管理などはなんとか行っている状況。施設設備の修繕点検など費用がかかって来ているが、給食を提供するためには必要なものであり、今後も改善に向け工夫し、修繕など引き続き行う。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>学校との連携により食育活動の充実を図るとともに、地域食材の利用拡充をすすめる。 新施設の完成までは現施設での必要な整備を行い、安全安心な給食を提供していく。</p>		<p>栄養バランスのとれた給食の提供により、児童生徒の健康増進や体力向上を図ることができた。施設の老朽化に伴う必要な修繕等は実施し、安全でおいしい学校給食の提供に努める。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	